

令和5年度 熊本県 中九州横断道路事業調整会議
議事概要

1. 日 時

令和6年3月6日（水）14:00～15:00

2. 場 所

国土交通省 熊本河川国道事務所 4階大会議室

3. 出席者

国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路計画第一課長

国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長

熊本県 土木部長

熊本市 都市建設局長（代理：都市建設局 技監）

4. 議事概要

○事業中区間の状況

- ・熊本県内の幹線道路は、令和6年2月に九州中央自動車道山都中島西IC～山都通潤橋ICの開通、有明海沿岸道路「荒尾道路」、熊本天草幹線道路「本渡道路Ⅱ期」が今年度事業化、さらに熊本西環状道路等の工事が推進されるなど着々と整備が進められている。
- ・事業中の大津熊本道路では、調査設計、改良工事、用地買収等を推進
- ・西合志IC～合志ICでは、県、合志市が用地先行取得を行い、用地買収を推進している。
- ・中九州横断道路沿線では、世界的半導体企業であるTSMC社の関連工場が2月24日に開所し、年内の本格稼働に向け準備が進められるなど半導体関連企業の集積が進む一方、周辺地域では交通渋滞も懸念されるなど中九州横断道路の早期整備が求められている。

○熊本県、熊本市からの要望

- ・事業中区間を含む中九州横断道路の早期整備実現に向けた事業の進め方を検討する必要がある。
- ・特に、本年2月に都市計画決定している熊本環状連絡道路についても大津熊本道路の供用に遅れることがないよう早期事業化に特段の配慮をお願いします。

○今後の進め方

- ・事業中区間については、国と熊本県、熊本市にて情報共有を図りながら、引き続き早期開通に向け事業を推進する。
- ・大津熊本道路は盛土構造のため、多くの土量が必要であり、現在、国、熊本県、熊本市で事業間調整を行っているところであり、事業推進のため、引き続き調整を行っていく。
- ・事業中区間を含む中九州横断道路の早期整備については、多様な事業手法について検討を進めることを確認した。